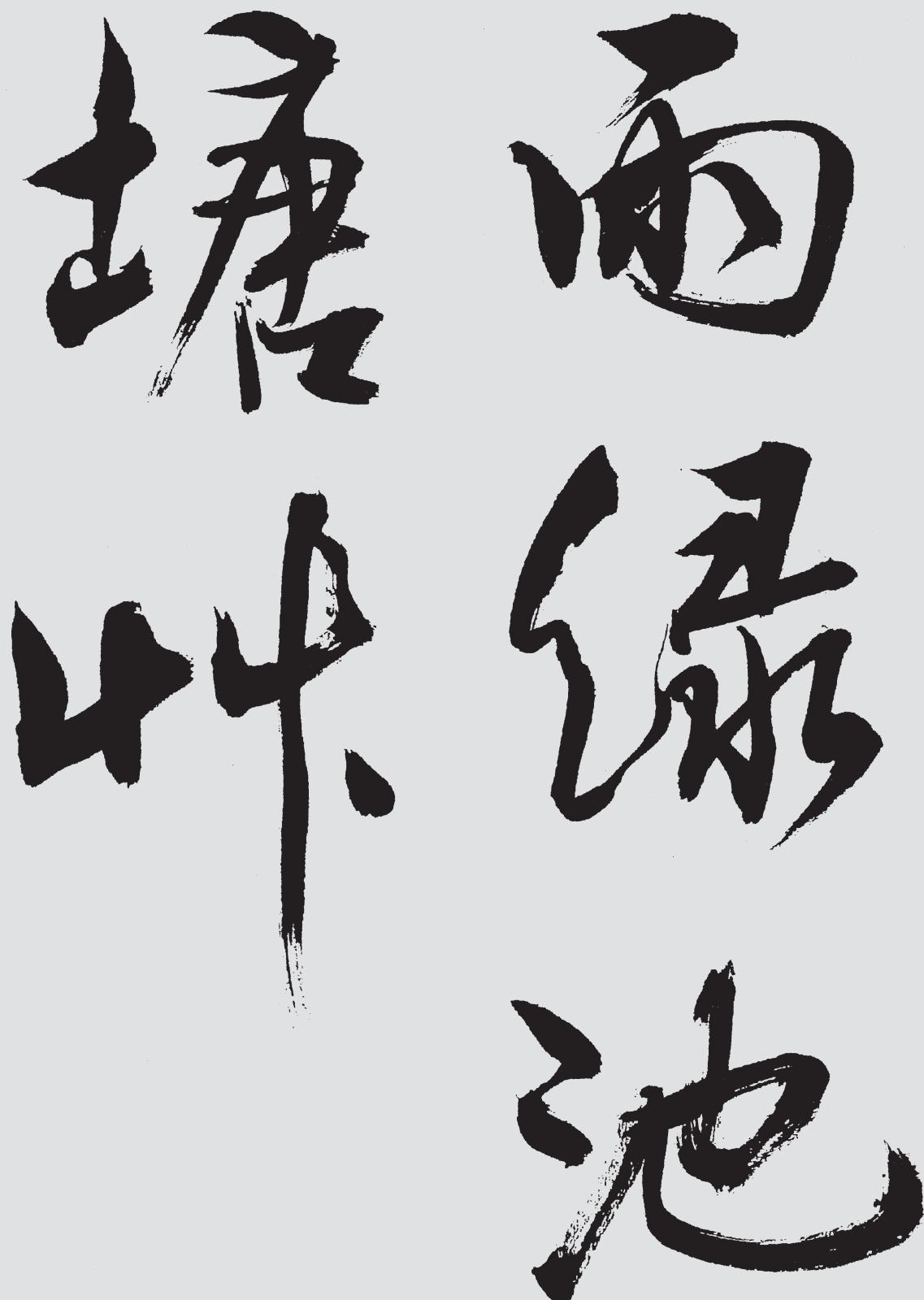


# 参考手本

※これは規定課題ではありません。

雨緑池塘艸



高木聖雨先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

雨緑池塘艸

塘 河

草 緑

池

高木聖雨先生

# 条幅かな

# 条幅規定

C部（二段以下）

A部（準五段以上）  
B部（四段～準三段）

しろたへのわがころもでをかたしきてひとりやねなんいもにこひつゝ（藤原資季朝臣）

白妙ヲ多良衣手乎可多志飛奈無妹専非

白妙ヲ多良衣手乎可多志飛奈無妹専非

集字聖教序（東晋・王羲之）

共拔迷途朗愛水之昏波同臻彼岸是知惡

浮 乘 清 鄉 先 生

共拔迷途朗愛水之昏波  
同臻彼岸是知惡

道因法師碑（唐・歐陽通）

矣弘濟多矣脫屣于寤境棲神於淨域春秋七

矣弘濟多矣脫屣于寤境  
棲神於淨域春秋七

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

（3月10日締切）

# 半紙規定(一)

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

曹全碑(漢・作者不詳)

戦謀若涌泉



野戦・  
謀は涌泉の  
若く

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(3月10日締切)

## 半 紙 規 定 (二)

九成宮醴泉銘（唐·歐陽詢）

金無鬱蒸之

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書  
〔一級以下〕楷書



金を流して、鬱蒸の氣無く

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(3月10日締切)

条幅参考手本

終南陰嶺秀  
積雪浮雲端  
林表明霽色  
城中增暮寒

久保田 悠山先生書

久保田 悠山先生

表明霽色城中增暮寒

終南陰嶺秀 積雪浮雲端 林表明霽色 城中增暮寒  
終南 陰嶺秀で 積雪 雲端に浮ぶ 林表 霽色明らかに 城中 暮寒を増す

江川玉堂先生

連夜深山雨  
春光應未多  
曉看洲上草  
綠到洞庭波

晉 江川玉堂先生書

連夜深山雨 春光應未多 曉看洲上草 綠到洞庭波  
連夜深山の雨 春光応に未だ多からず 曙に看る洲上の草 緑は到る洞庭の波

# 条幅参考

鶯の谷よりいづる聲なくば春來ることを誰か知らまし（大江千里）  
おおえのちさと  
千里の外をあゆむ



渡邊南嶂先生

朝霞開宿霧 衆鳥相與飛 遲遲出林翻 未夕復來歸  
朝霞 宿霧 開き 衆鳥 相い与に飛ぶ 遲遲として林を出でし翻 未だ夕べならざるに復た来たり帰る



青木昇堂先生

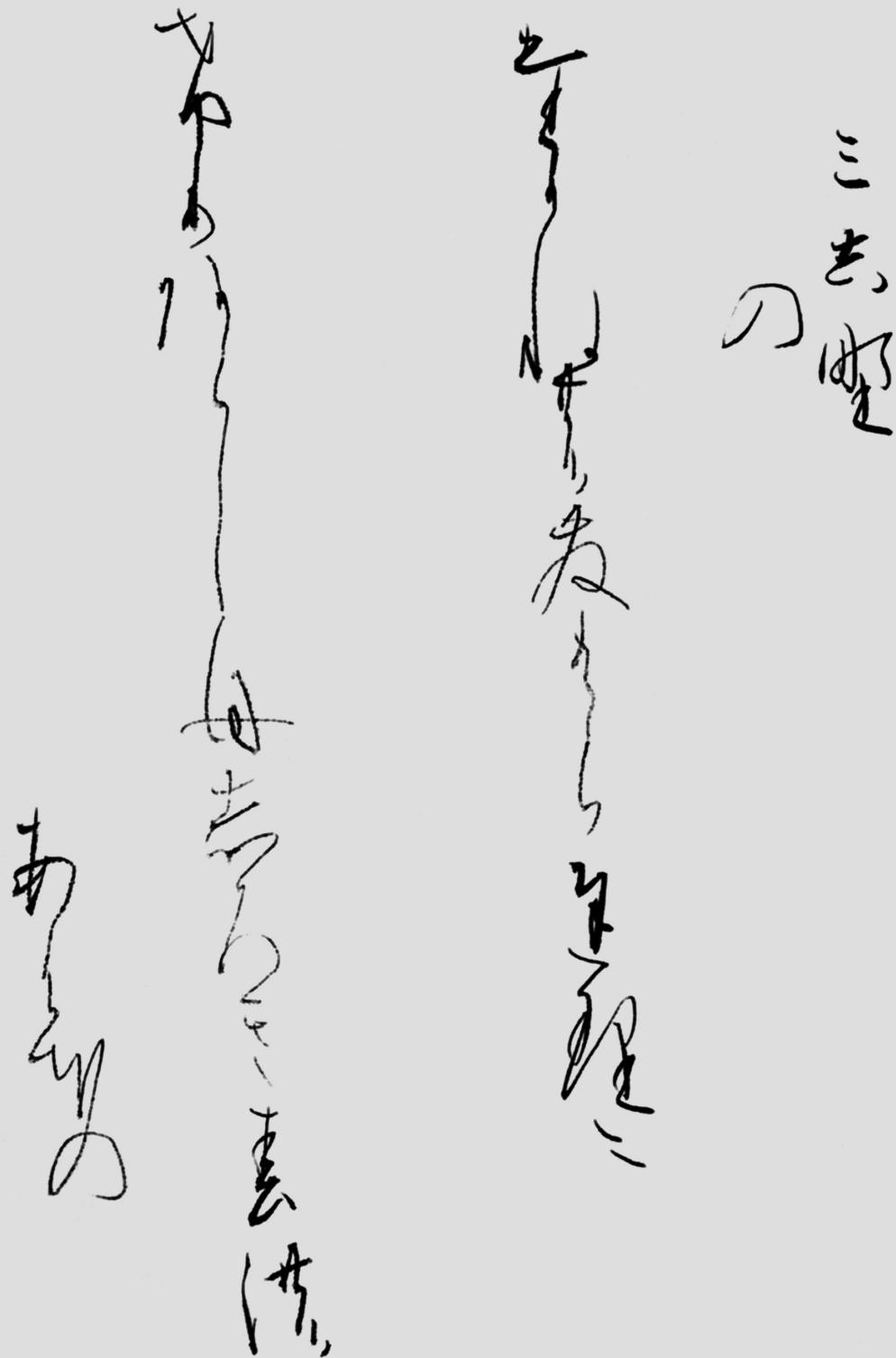
# 半紙かな(初段以上)

三  
吉野の高嶺の桜散りにけり嵐もしろき春の曙  
農散九ら遅理二希利阿らし母志濃あぐ本の  
(後鳥羽院)

支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

\*支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
\*ちらし文字変換は自由

浮 乘 清 鄉 先 生



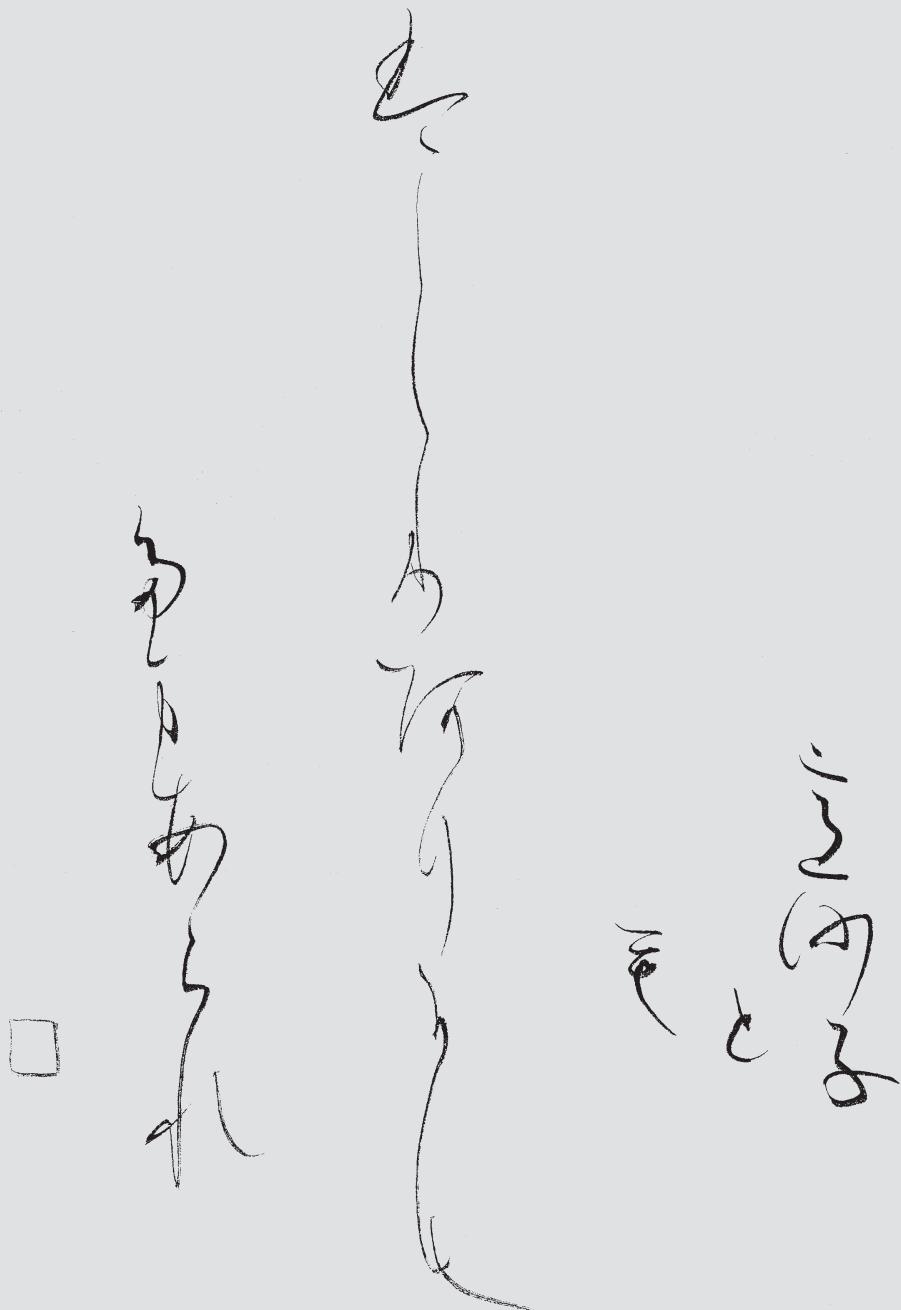
(3月10日締切)

# 半紙かな（1級～8級）

いざ子ども走ありかん多  
意沙毛盤利阿可万あられ  
（松尾芭蕉）

支部名 級 姓 号  
(鉛筆可)

\*支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
\*ちらし文字変換は自由



小林智峰先生

(3月10日締切)

## 実用文（準三段以上）

山田翠臯先生

月の光は白く晴れたる雪の如  
梅花は点々と星が照す  
また月が金鏡にわたるの  
月は雪に傾きて庭上の梅花の  
玉をはさう魚かである。

支部名　あ　姓　号

〈書風任意〉

…梅花は…金鏡に似た…庭上の梅花の玉屋は香り豊かである。（菅原道真・月夜見梅花より）

## 実用文（二段以下）

渡邊南嶂先生

大空に漂ふ白雲の一つあり。童、上に  
のぼり 松の小かけに横たはりて、ひた  
すらこれを見眺めゐたり。が、そのまゝ  
寝入りぬ。夢は樂へかりき。

支部名

段級

姓号

# 細字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より

P24

喧けん邁まい

騷そう進しん

勢よく進む。

さわがしくやかましい。

※一級～八級は草書まで。初段以上は隸書まで。

支部

段級

姓

号

名前は必ず楷書  
17cm(ヨコ) × 24cm(たて)

ハ ハ ハ ハ ハ  
達 車 輛 邁 進 喧  
達 車 輛 邁 進 喧  
車 輛 邁 進 喧 騷  
轛 邁 進 喧 騷  
邁 進 喧 騷  
進 喧 騷  
喧 騷

(3月10日締切)

## 硬筆（初段以上）

本院定型用紙一枚に書く

…冷たさが…春の到来が待ち遠しいこの頃、…澄ませば、大地に息吹く…中から聞こえてきそうです。

支教名

系

姓  
名

立春とはいえ、まだ、  
吹く風に  
冷たさが残る昼夜に春の到来が  
待ち遠しいのみ、耳を澄ませ  
ば、大地に息吹く春の鼓動が遠く  
土の中から聞こえてきそうです。

青 柳 江 雲 先 生

(3月10日締切)

硬筆（4級以下）

支部名 級 姓号

苦勞してきた人間、挫折の経験のある  
人間ほど大きく成長する。

硬筆（1級～3級）

苦勞してきた人間、挫折の経験のある  
人間ほど大きく成長する。

本院定型用紙・たて半分に書く

鈴木蕙翠先生

鈴木蕙翠先生

中2用

支部名

段級

名

前

変化の四季

渡邊南嶧先生

中3用

支部名

段級

名

前

平紫を祝う

小6用



中1用



(3月10日締切)

小4用

支部名

段級

名前

しせう  
雪  
まつげ

大越三宗先生

小5用

支部名

段級

名前

れい  
お  
会  
別

—19—

大越三宗先生

(3月10日締切)

小2用

支部名

段級

名前



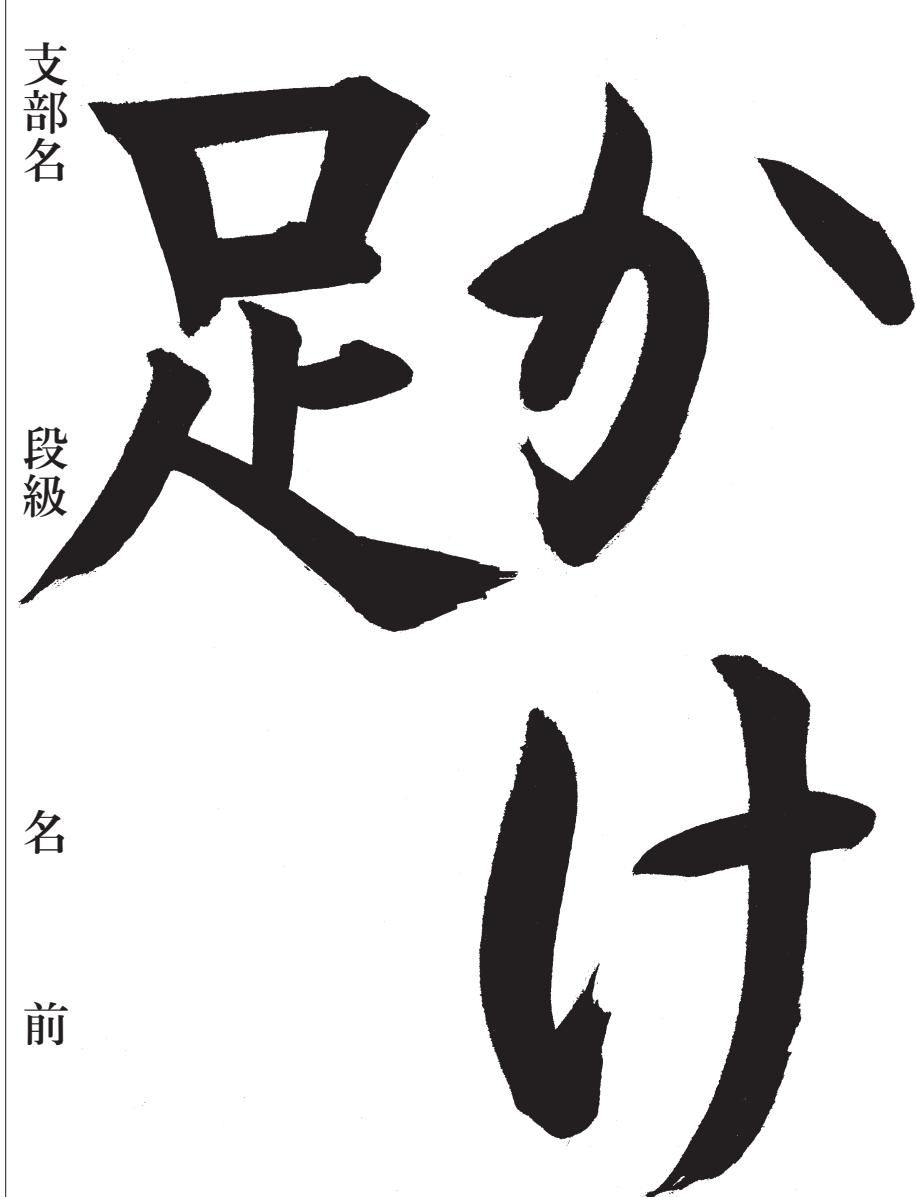
鈴木翡翠先生

小3用

支部名

段級

名前



鈴木翡翠先生

(3月10日締切)

中 1

もうすぐ鳥歌い、花咲  
き乱れる春が訪れる。

中 2

行書は書写に適し、  
品にも多く書かれる。

中 3

自主的な判断や創造的  
な意見を育てたい。

中 1～中 3

青 柳 江 雲 先 生

小1・幼年用

支部名

段級

名 前

— 21 —

鈴木翡翠先生

(3月10日締切)

小1・幼年

まつしろいゆきがそら  
からふつてきだ。

小 2

二月は一ねんでもさむい月です。もつ

小 3

山から、黒いくもが空にひろがつてきだ。

小 4

自分がいやと思うことは人にもしない。

小 5

冬から春になります。

小 6

北国では二月になつても雪の降る日もある。

小1～小3

田辺翠鶴先生

小4～小6

齊藤翡翠先生

流先生

(3月10日締切)

## 小学部小筆課題

支部名

段級

名前

梅かおる  
春の夜

主幹 菅野翠濤

季語=「雪」

遠くの雪山だけがまだ明るく見える夕暮、子供達が散りぢりに家へ帰つて行く、と  
いうのである。静かでもの淋しい冬の夕暮の句。

## 中学部かな課題

支部名

段級

名前

すみる子供らに山の  
雪